

2019 (H31)

卯月 4/26

311-
M

四百一

卷之三

Root system

今頃のん

卷之三

1

右馬允だよ

平成最後の満月は 澄んだ夜空に
ポツカツ浮かんた美しいお月様でした。桜の
花びらハ雪のように舞い降りて道路ハ眞白
です。今は花桃、やまざきハ盛りとなっています。
苔庭の方では ラネアオイ、イカリ草、一人静か
ハ楚々と咲き 利休梅ハ清らかに咲くその
足元にはさくら草ハ……いい時節です。

長男の元から早朝より山菜の収穫に熱心に動き、
お客様の食料確保に必死で元気張っています。若い
頃は私たちもそうでした。お客様に喜んでいたい、
たい! そういう想いに揺り動かされながら今
までやって来た訳ですが、有り難いな?と息子を見
ながら思います。若い細胞は感受性が強く
老いた細胞はそれらが遠のいてゆく、この事実はなん
とも悲しいものがあります。自然の成り行きとして受け
止めていくしかありません。老人なりの大志とは
何ぞや。只今摸索中であります。 番号

2月下旬より上京し恒例となつたヨガ修行の2ヶ月の行程を終了し4月7日に無事大底に戻りました。石馬先の接客を任しているので一同ホッとしてその帰りを喜びました。そして4月9日 充の誕生日に3週間の入院生活を済した私も正介さんに連れられて帰宅致しました。たよ里には私の事を書くばかりに皆様にはいらぬご配慮をおかけしてしほう現実に申し訳なく恩つながらせえております。ありがとうございます。皆様から無理とせぬよう自分の体とみづめながら自信のもてたところで仕事に度とうと決意しています。帰った頃はまだ3分咲きで水仙だけがひらひら咲いてお迎えてくれました。やがて梅が満開になり花桃が次々と開花して石馬先は天国のような景色でした。気持ちもゆったりリハビリに精を出す一日の歩みの幸福な日々。このような時間は嫁いで初めてのことであれしくてうれしくて…桜吹雪の3日の後葉桜となり木々の芽吹きが始まり見上げながら希望で胸が脹らむのを感じながら 今日は草取りに挑戦と指導していくことにあり4月14日(火)ハサツに抜いた草を入れていくとすぐいゝじょうにぎりと本足はおぼつかないまでも力んとか屋までいてそれを投げ捨てまた4月15日(水)草をむけります。とりあえず今の私に出来ることから少しづつクリアしていくとあります。正介さんは私の代りにお客様の、ひととん敷き(寝床を整えます)。えらい!!私は正介さんを尊敬します。しゃいます。